

DIGITAL コーラス愛知

2026/8/7
発行
第9号
愛知県合唱連盟

♪ 第65回 愛知県合唱祭

2026年6月13日(土)・14日(日) 名古屋文理大学文化フォーラム

♪ 「合唱やろうぜ」「合唱すごいぜ」



なごやアンサンブルファミリア

117団体から総勢3200人が大・中2つのホールに集まり、65回目の愛知県合唱祭が行われました。小学生から90代の幅広い年齢層、一人1パートの3人グループから150人の大合唱団までの、合唱を愛好する仲間がそれぞれの持ち味を生かした音楽を披露しました。数十年ぶりに復活した30秒のPRタイムでは、各団の近況報告や演奏会の宣伝を行うなど会場が和やかな雰囲気になりました。応援にかけつけてくださったお客さまも、二日間で2000人。講師にお招きした 三宅悠太先生のワークショップやワンポイントレッスン、大学生企画もあり、まさに年に一度の合唱の祭典となりました。

合唱には、ストレス軽減や気分の向上、脳の活性化やアンチエイジング効果など、心身の健康や教育・社会性にとって、さまざまな効用があることが分かっています。科学的にも感情的にも、合唱は私たちの毎日を豊かにしてくれる最強のメソッドです。《全日本合唱連盟HPより》

参加された皆さん、聴いてくださったお客さまに、合唱の素晴らしさを味わっていただけたのではないのでしょうか。

主催していただいています、朝日新聞社、稲沢市文化振興財団、舞台写真を撮影し各団体に写真が無償で提供いただいている朝日新聞名古屋販売の皆さまに感謝をいたします。(文責 長谷正子)

♪ 初出場の団体

愛知県立刈谷北高等学校合唱部 部長 山口倫歌（2年）



今回初めて合唱祭に出場させていただきました。先輩が引退し、入部して間もない1年生を含めた新メンバー11名で挑むということもあって少し緊張していましたが、お客様や出演者の方々の温かい雰囲気や拍手で緊張がほぐれ、本番では「リフレイン」をのびのびと歌うことができました。中ホール of 響きがとても心地よく感じられました。今まで同じ世代の合唱を聴く機会が多かったですが、今回は幅広い世代の合唱を聴くことができ新たな発見を得ることができました。特に、社会人の方々の合唱は安定感がありのびやかでとても良い刺激になりました。また、各団体がお互いの演奏に感想を書く機会もありました。初心者から経験

者まで様々な立場からの感想を頂き、自分たちでは気づけなかった良さや改善点を知ることができ、これからの練習の励みになりました。新たな経験を通して多くの学びや刺激を得ることができ、合唱の楽しさをあらためて感じた一日となりました。この経験を今後の練習に生かし、より良い合唱をつくっていきけるよう努力していきたいです。

なごやアンサンブルファミリア

松本梨湖（南山中学女子部3年） ※写真はp1に掲載

今回、合唱祭に初出場させていただきました。私は中学校でも合唱部に所属していて、合唱祭にも出たことがあります。しかし、今回の合唱は、部活動で体験した合唱とは全く異なる体験でした。人数や声の厚みの違いを感じ、大人数で歌うのはこんなにも楽しいんだと思いました。また、壮大な伴奏と、合唱に負けない感情のこもった指揮も相まって、感激です。私は歌いながら、これは簡単にできる体験ではないと思いました。そして、全員が合唱を楽しんでいるからこそ、一つ一つの音色や歌詞に、感情をのせて歌うことができ、曲の持つ魅力を最大限に伝えることができるのだと実感しました。

「なごやアンサンブルファミリア」には小学生から社会人まで所属しています。年齢や出身学校が異なる人たちが一つの合唱をつくりあげるといふ、そんなすばらしい合唱団の中に自分がいるという事実をうれしく思います。今後も皆さんと楽しく合唱を続け、たくさんの人に合唱のすばらしさを伝えられたら良いなと思います。

なごやジュニア&ユース合唱団 "Stella" 代表 田舎片雄貴



「部活と習い事のいいとこ取り」をコンセプトに、学校の枠を越えて合唱を楽しめる場所として生まれたのが「Stella」です。練習では、一つの曲にじっくり向き合い、歌詞の意味や響きを味わいながら、仲間と一緒に試行錯誤して音楽をつくっています。

とはいえ、休憩中はとてもにぎやか。推しの話、学校の話、勉強の悩みまで、話題は尽きません。学年も学校も違う子どもたちが、歌をきっかけに自然と仲良

くなっていく、そんな空気が、「Stella」の一番の自慢です。そんな仲間たちと迎えた、念願の合唱祭初出場。初めてとは思えないほど、子どもたちはのびのびとステージを楽しんでいました。他団体の個性豊かな演奏を聴かせていただき、ジャンルも表現も実にさまざまだと感じました。言葉を交わさなくても、歌でどこかつながる、合唱祭ならではの空気がとても心地よく、私たちの活動とも重なる気がしました。

「Stella」では、小学校高学年から高校生まで、一緒に歌う仲間を募集中です！気になった方は、ぜひお問い合わせフォームをご覧ください。<https://forms.gle/3EidHxiCPHEe5Jk5>



名古屋大学グリークラブ 渡邊彬良

私たち「なごぐり」が合唱祭に参加した理由は三つあります。

一つ目は、団員の多くが所属しているコール・グランツェなどの団体が毎年合唱祭に参加しており、その舞台の雰囲気や意義をよく知っていたからです。さまざまな合唱団が集まり、それぞれの演奏を披露し合う合唱祭は、互いに刺激を受けながら合唱の魅力を共有できる貴重な機会であると考えました。

二つ目は、新入団員に本番の経験を積んでもらうためです。今年は新たに一年生を迎え、八月に開催され

る大規模なジョイントコンサートを開催しています。その前に実際の演奏会を経験することで、舞台での立ち振る舞いや本番特有の緊張感に慣れ、今後の活動に生かしてほしいと考えました。

三つ目は、なごぐりの活動をより多くの方々に知っていただくためです。合唱祭には愛知県内外から多くの合唱関係者や合唱愛好家が集まります。そのような場で演奏することで、私たちの魅力を発信するとともに、八月のジョイントコンサートの宣伝にもつなげたいと考え、参加を決定しました。これらの理由から私たちは合唱祭への出演を大変意義のあるものと考えています。

♪ 全員合唱

毎年、各ブロックの最後に歌う全員合唱の指導を出演団体の指揮者、ピアニストの方をお願いしています。日頃、それぞれの団で取り組んでいるウォーミングアップの体操や発声方法を教えていただきました。交流の機会を設けるなど、それぞれ工夫された20分間でした。

ご指導いただいた指揮者、ピアニストの先生方、ありがとうございました。

	曲 目	指揮者	ピアノ			曲 目	指揮者	ピアノ
A	大切なもの	山本高栄	野出明江		母	いのちの歌	三宅悠太	山本千愛
B	いつまでもいつまでも	湯浅乃有	小泉廉弥		F	夜のうた	荒木 旬	—
C	夢見たものは	酒井徳人	—		G	いつまでもいつまでも	山口美羽	鈴木駿之介
D	音楽の木	孕石真幸	—		H	音楽の木	田中大樹	—
E	大地讃頌	永ひろこ	掛川遼平		L	夜のうた	青木光博	—
I	大切なもの	神原 綾	大森公德		M	夢見たものは	加藤一郎	—
J	夢見たものは	長柄孝彦	—					
K	夜のうた	鈴木美奈子	早川佳穂					

合唱祭2日目となる6月14日、小ホールにて初の試みとなる大学生のみの合唱講座や交流会が行われました。Gブロックに出演した大学生約140名に語る三宅先生の講義に参加者はみな真剣に耳を傾け、聞き入りました。

♪ 合唱講習会



前半の合唱講習会では文部省唱歌として有名な岡野貞一作曲の「ふるさと」を題材に、情熱あふれる講義をしていただきました。「もし岡野貞一が凡人だったら？」というキャッチーな例えと即興のリズムにより、曲に潜む工夫と岡野貞一の天才性を体感する充実した時間となりました。全体として「息の流れ」が重視されている印象で、「息が流れるフレーズとは何か」という作曲技法的な話や曲をさらに深く広げるブレスのしかたといった歌唱技術的な話まで盛り込まれ、様々な要素を盛り込みつつもまとまりのある話題展開を見せました。大学入学以前の合唱経験によって差別化されやすい大学合唱ですが、合唱初心者にとっては取り組みやすく、経験者にとっても実りのある時間となり、熱心に頷きながら聞く姿も多々見られました。

♪ 大学生交流会



後半に行われた大学生交流会は、合唱講習会とは打って変わって終始にぎやかな雰囲気でした。大学生交流会の企画構想は、大学生理事が中心となって学生目線でプログラムを考案しました。チーム対抗のクイズ大会は、チーム全員で回答を決めて一斉にマルバツを掲げるというシンプルなルールでした。チームは大学の垣根を越えてランダムに振り分けられたこともあり、チームごとでの自己紹介も行われました。優勝チームはなんと10問中8問も正解する驚きの成績をおさめ、即興チームながら見事なチームワークを発揮していました。終盤では優勝チームの景品として三宅悠太先生の直筆サインが入った合唱祭のパフレットが進呈され、先生の熱い指導の後ということもあり贈呈式的一幕は大変な盛り上がりを見せました。参加者からは「交流会で同じチームになった人と後日会うことがあり、仲良くなることができた」との声も聞かれ、他団との横の繋がりをつくることのできる有意義な会となりました。

(文責 関優月)

2026年度合唱祭

大学生交流会

チーム対抗クイズ大会

ルール説明 1分

チームで相談！

回答をそろえる！

正解数が多いチームが優勝！！

第1問

稲沢市の人口は、名古屋市中区の人口より多い

○

or

×

第1問

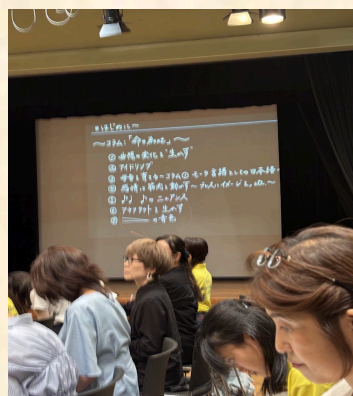
答えは…

解説

稲沢市:132,879人
名古屋市中区:99,504人
(2025年時点)

♪ ワークショップ & ワンポイントレッスン

♪ 混声ワークショップ ことばを追い越して



～ コラム:「命のBeat」～

- ① 曲想の変化を生かす
- ② アイドリング
- ③ 母音を育てる～コラム①モーラ言語としての日本語～
- ④ 感情は筋肉を動かす～ブレスにイメージをetc.～
- ⑤ ♪ ♪ ♪ のニュアンス
- ⑥ アウフタクトを生かす
- ⑦ decrescendo の音色

合唱祭土曜日恒例の、混声ワークショップには今年も約100人(Sop30・Alt45・男声20)の仲間が集まり、三宅先生からご提案いただいた混声3部合唱「ことばを追い越して」に取り組みました。自らの作品に込められた思いを語っていただいたり、「beat感を感じる」「Aメロ/Bメロ/サビ…の変化のコントラストを豊かに」「Aメロはレガート且つおおらかに」「Bメロはピアノのリズムと躍動的にアンサンブルして」など、画面に大切なことを映し出しながら具体的に分かりやすく教えていただいたりしたので、充実した時間を過ごすことができました。大ホール舞台(Eブロック開始前)での成果発表でも、この曲の素敵な言葉とメロディーに、心が染まるのを実感しながら歌い合わせることができました。

♪ ワンポイントレッスン

講師の三宅先生から30分間、直接レッスンを受ける「ワンポイントレッスン」が、両日小ホールにて行われました。以下の4団体が、7月のおかあさん中部大会や8月の県コンクールに向けて、団の持ち味や曲の特徴を生かした演奏に仕上げていくための、アドバイスをいただくことができ、実りのある時間となりました。

名古屋市立滝ノ水中学校合唱部	ひとめぐり ―混声合唱とピアノのための―
名古屋市立萩山中学校合唱部	女声合唱とピアノのための組曲「空をかついで」から 契
コール リリアス	あいたくて
VOCI BRILLANTI	子守唄 ―立原道造の詩による小さなレクイエム―



♪ 三宅悠太先生からのメッセージ

2026年6月13日(土)・14日(日) 名古屋文理大学文化フォーラム



【合唱祭全体の感想】

中高校生、大学生から一般、職場、少年少女の合唱団まで、各ホールで多彩な演奏が繰り広げられたことはもとより、各ブロック前の全体合唱練習にも個性があふれ(指導者それぞれのカラーが感じられるのも楽しい)、さらに、このホールの特性を生かした“裏番組的”なワークショップや講座が同時に展開されるなど、歌い合い、聴き合い、学び合う、多面的なイベントとなった。緊張感が張り詰めるコンクールとは異なる、おおらかさと温かさに満ちた、文化的な合唱祭であった。そして何より、端々に感じられた連盟事務局の皆さんの温かな眼差しが、今も忘れられない。

【合唱講座の感想】

拙作《ことばを追い越して》の講習会后、すぐにステージで発表するという、臨場感あふれる企画。「いのちのBeat」「曲想の変化を“生かす”とは?」「感情は筋肉を動かす」「アウフタクトのエネルギー」ほか、いくつかの学びのテーマを設定し、演奏が具体的にどのように変わっていくのかを受講者とともに体感しながら、約1時間の講座を駆け抜けた。事前の音取りもしっかりとなされていたため、限られた時間の中で深く音楽表現に踏み込むことができた。年齢や所属の異なる方々が、その場で一つの合唱団となり、互いの声を聴きながら音楽をつくってくださったことを、作曲者としても大変うれしく感じた。

【大学生合唱講座の感想】

《生きた表現へ ―「ふるさと」から広がる音楽の地平―》と題して、唱歌「ふるさと」を通して音楽を探究する講座を実施した。この楽曲の歴史や固有の音楽的魅力に光をあてつつ、「演奏における3つの段階」「3拍子の推進力」「リズムの妙」「メリスマ」「ハンドサイン&ソルミゼーション」ほか、あらゆる西洋音楽に通底する原理についても多く扱った。この“種”を大学生たちの豊かな感性と想像力で、明日からの音楽表現に生かしてくださったら本望である。フレキシブルに反応してくれる学生たちの独特の熱気や瑞々しい歌声、真剣な眼差しに、私自身も多くの刺激をいただいた。

♪ 第49回全日本おかあさんコーラス愛知県大会

～女声合唱の祭典～ 2026年6月14日(日)ホール名古屋文理大学文化フォーラム



7団体150人が参加し、曲、振りつけ、衣装などそれぞれの団体の持ち味を活かした演奏を披露しあいました。今回は、初参加の「コーロ・アマトリーチェ」団長の加藤さん、副団長の古橋さん、衣装係の藤田さんにインタビューをしました。

・初出場でしたが、本番を終えていかがでしたか。

－本当に初めての参加で、よくわからずにここまでできました。でもなんとか無事に終わったのでホッとしています。

－三宅悠太先生が講評をしてくださるということを知りまして、ちょうど秋にある定期演奏会に向けてレッスンをしていた曲がありましたので、ぜひ聴いていただきたいなという思いで出演を決めさせていただきました。先生に直接お聴きいただいて、これからのことにプラスになるお言葉をいただけて、本当にありがたかったなと思っています。

・皆さんにゆかりのある、稲沢での合唱祭でしたね。

－定期演奏会もこちらの会場ですし、11月に開かれる稲沢音楽祭にも、毎年参加させていただいております。今回のおかあさんコーラス大会も稲沢でということで参加しました。

・衣装の工夫についても教えてください。

－藤田さんをはじめとした衣装係の皆さんが、全部手作りで作っていただいています。すごく心強いです。

－この衣装は夏場になるとよく着てもらってます。今回は選曲した「いきる」に合わせて明日へ向かう、明るいイメージの衣装に決めました。

・最後に一言、お願いします。

－初めてでドキドキして緊張しましたがけれども、楽しく歌えたと思います。

・どうもありがとうございました。

♪ 第66回 愛知県合唱祭

第50回 おかあさんコーラス愛知県大会～女声合唱の祭典～

2027年6月12日(土)、13日(日) 名古屋文理大学文化フォーラム

講師:佐藤賢太郎(ken-p)先生(予定)